

災害備えNGO拠点

広島県と
AMDA 97年度開設めざす

国連の非政府組織（NGO）である「アジア医師連絡協議会」（略称AMDA、本部・岡山）と広島県は十八日、自然災害や原発事故に備えた国際的NGOの拠点を、東広島市の広島国際協力センター（仮称）内に設けることを明らかにした。災害時に国内外へ医師を派遣しているAMDAと、被曝（ひばく）者医療の分野で国際貢献をめざす広島県の構想が一致した。開設は一九九七年度の予定で、当面はNGO支援のための講座をつくり、全国から聴講生を募る。

センターは、国際協力事業団（JICA）が整備を進めているJICA中国国際センター（仮称）と同じ敷地内に県が建設している。センターから東約十五キロの広島空港（豊田郡本郷町）には、アジアを中心とする国際定期便も比較的多いため、広島県ではセンター周辺に救援物資の貯蔵庫や、中古マシン、自転車など修理するリサイクルセンターの建設を進め、「拠点機能」を高めたい考えだ。